

# おれんじニュース

No300

2015年3月号



2月8日、九重山系、三俣山を目指した。石粒が当たるような猛吹雪で諏蛾守越えで撤退。

今月の記事	第36回定期総会準備、野母崎・権現山と水仙公園、英彦山と甕岩、難所ヶ滝～三郡山、九重連山・三俣山、300号記念クイズ
-------	--

	2015年3月	2015年4月	時間	場所
運営委員会	10日(火)	14日(火)	13:30～16:00	西諫早公民館
全体集会	25日(水)	29日(水)	19:00～21:30	

4月4日(土) オレンジハイキングクラブ定期総会です。

1月18日 野母崎の権現山と脇岬はアクアブルーの空だった



↓1月25日凍った滝が見たくて難所ヶ滝に行ってみました。



滝の前なのに寛げるほど暖かい(@\_@;)



## 2015 / 3月の山行

部	山行部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	3/7(土)	3/14/15(土・日)	3/22(日)	3/27(金)
山名(行事)	小岱山(501.4m)	開聞岳(鹿児島)	西海虚空蔵山	橘神社ととけん山
地 図	玉名	開聞岳・長崎鼻	面高	小浜
集 合 場 所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 8:00 西諫早駅 8:10	諫早バスターミナル 8:20
難 易 度	初級	初級、	初級	初級
帰 着 時 間	18:00	20:00	17:00	17:00
歩 行 時 間	5.5h(3.0h/2.5h)	14(3h)・15(4h)	3.0h	4.0h
交 通 手 段	マイクロバス	マイクロバス	マイクロバス	公共交通機関
宿 泊 施 設	日帰り	うなぎ温泉 (いなほ館)	日帰り	日帰り
温 泉	有り	有り	有り	有り
参 加 費	5000円	16000円	3500円	交通費のみ
申 込 期 限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	随時
集 約	高森	佐原	山口	金丸
備 考	整備された九州自然歩道が登山道です。ヤブツバキのトンネルの尾根道を歩きます。	一足早いお花見の山歩きです。菜の花やショウジョウバカマも見頃です。	山とうず潮と猪がきを見ます。盛りだくさんの企画です。	例年の通りお花見登山です。バスでのんびりアルコールもちよこっと飲んだりします。
感想文提出	3/17	3/25	4/2	4/7

### 技術研修部だより

2月21日(土)	セルフレスキュー	西諫早駅	9:30
3月28日(土)	〃	〃	〃
4月25日(土)	〃	〃	〃

冬山の装備の勉強会もいたします。アイゼン、ピッケル、ダブルストックなど、持ち寄って相談してください。防寒着もね。





## 2015 / 4月の山行

部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	4/12(日)	4/19(日)	4/24(金)	4/25(土)
山名(行事)	石割岳	高見岳・女岳	高岩山	高祖山・叶岳
地 図	十籠	彼杵・嬉野	雲仙	福岡西南部
集合場所	JR 諫早駅 6:20 JR 西諫早 6:30	JR 西諫早 8:00	JR 西諫早 8:00	JR 諫早駅 6:20 JR 西諫早 6:30
難 易 度	初級	初級	初級	初級
帰着時間	18:00	18:00	17:00	18:00
歩行時間	4h	4h	3.5h	5h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	星の温泉きらら	有り	有り	有り
参加費	5000円	1000円	1000円	5000円
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	佐原	山口	金丸	高森
備 考	ヤマザクラとミツバツツジのトンネルを歩きます。穏やかな登山道です。星の村、九重の花等地名も美しい。	川棚の山、二座を歩きます。虚空蔵山を眺めながら近くの山をのぼります。	ミヤマキリシマの宝庫、宝原園地から登ります。ニシキウツギ、シモツケも見頃でしょう。	遠い昔に思いをはせながら怡土城跡、高粗城の山城跡をあるきます。歴史好き必見。
感想文提出	4/22	4/29	5/4	5/5

### オレンジハイキングクラブ第36回定期総会準備はじまる

- 期日 4月4日(土) 13:00~16:00
- 場所 西諫早公民館

各専門部案検討 2/25 3/10  
事務局提出 3/22  
印刷 3/30

みんなで協力  
みんな参加 いろんな意見を  
出しましょう……。

# 2015年1月/2月の山行報告



1月18日(日)

## 権現山(189m)と水仙公園へ行こう！！

(参加者) 中里、野中、松田、山口、工藤、森(寿)、山下(ち)、山下(文)、川原、柳迫、船津、兵庫、川内、佐原、福岡、鎗水、吉川、小山、一般(後田、中村) (20名)

(行程) 7:50 諫早駅裏—8:00 西諫早駅—8:20 喜々津駅前通り—多良見 IC—8:40 長崎市民病院前—9:40 野母崎バス停 10:20 日ノ山神社—権現山山頂—清掃活動—椿公園散策—昼食—樺島大うなぎ見学—樺島燈台—野母崎水仙公園—海の健康村温泉—諫早

(感想)

1月18日、自然保護部企画「野母崎水仙祭りと脇岬権現山」に参加させてもらった。

こんな冬の日もあるのかと思うほど穏やかな空と海と長崎の街並をぬけて脇岬役場に到着。トイレを済ませ「さあ出発」と言う時、少々もたつた。右か左で意見が分かれずでに何処かへ歩いて行ってしまった人もいる。

そこでN氏が地図を指し示しながら「こっち」と。地図の威力は甚大だ。で、9時35分「こっち」へ歩きだした。漁師町特有の入り組んだ狭い路地を手押し車のおばあちゃんや寛いでいるおじさん達(私おばさん)と挨拶を交わしながら権現山への石段を登り始めた。車道に出くわした所で「階段ばかりじゃねえ」と車道歩きに変更。頂上は見



えているのに車道はクネクネと曲っていてもどかしい。しかし道は一本道。深い山中とい

うでもなし、みんなどこかお気楽ムード。まるでクモの子を散らしたように列は長〜くバラバラで時には階段のほうに近いとそっちへ行きたがる人もいてリーダーだけが「車道を行きま〜す」「車が来ま〜す」と気を張っておられた。

クモの子たちは車に踏んづけられることもなく1時間程で頂上着。



神社にお参りし11時半までゴミ拾いと自由散策となった。椿の名所という事だったが時期が早かったのか花の数は少なく撮影を楽しみにしていた人はちょっと残念そうだった。しかし、波静かだったおかげで眺望はよく、はるか西の方、水平線上には大きな島の連なりも見えて「五島でしょうね」と頭の中で地図を広げてみたりした。安納芋のおやつ付き昼食を済ませ12時過ぎ樺島へと向かった。そこで、オオウナギを見た。「長崎の街はずれ、

岬のそのまた先の樺島という島に不思議な井戸があってな、そこに大きなウナギがすんでいたんだと」そんな昔話のような、でも実在のオオウナギ。初耳の初対面。その日は井戸の側の水槽の中にいたが名はうな子ちゃんとあった。

バスは更に走って樺島燈台へ。私はこの日燈台を含むそこからの景色に一番感動した。故郷の地なのに知らない事、知らない場所のいかに多いかを再認識した事だった。

最後は水仙の咲く丘へ。

こちらは大当たり。満開の水仙が暖かい光の中で揺れていた。温泉に入り予定より1時間遅れて諫早に戻った。今回はオレンジハイキング企画というより元気すぎる老人クラブのバスの旅という感じでしたがこんな楽しいばかりで盛りだくさんの企画を立てて下さった上に安納芋のおやつまで用意してくださった（リーダーN氏が芋を買い求めYさんが蒸して下さったそうです）自然保護部の皆さんに感謝です。思い切り楽しませていただきました。ありがとうございました。（山下 文代記）



## 1月23日（金）

### 英彦山・甕岩

（参加者） 福岡、兵庫、小山、中里、佐原、林（孝子）、川内、山口、吉川、佐藤  
（10名）

（行程） 7:57 諫早～8:01 西諫早駅～8:31 長崎駅～9:25 番所バス停～11:10 英彦山～12:00 下山開始～13:15 こしき岩展望台～14:19 こしき岩バス停～14:50 長崎駅前南口バス停～長崎駅（各自好みの列車で諫早へ）

（感想）

結論から先に申し上げると前日は天気が悪かったのに当日は、無風快晴で山登りにはもってこいの天気であった。

天気も大変良かったし、和気あいあいと冗談を言いながら山登り、皆さんのお陰で一日楽しく過ごさせていただきました。

長崎駅で吉川さんと合流し、駅前から電車で移動し「番所バス停」付近の登山口からリーダーの福岡さんを先頭に登り始めた。

登り始めてすぐに320段のコンクリート製の階段が待ち受けており、その上も階段になっており、そこを20分位登った所に周囲が切り立った岩に囲まれた奥に「岩倉大明神」の祠があり、その雰囲気や光景を何と表現していいのか、文才がないので上手く表現することが出来ない。



そこからもの凄く急な道を登り、しばらくすると 37 段の階段を登りきった所に「飯盛神社」



とその隣に「三十番神社」の社があった。そこから 30 分位生い茂った樹木の中や竹林の中を歩いて英彦山の山頂に着き、そこから西の方へ少し下った所からの展望、長崎市街地やその周辺が眼下に、つい、ワンダフルと叫びたい位素晴らしい光景であった。

展望を終え英彦山の山頂に戻りそこで昼食を済ませ、甕岩を目指して下山を始めた。しばらくしたら国道にでた。そこには「田手原バス停」があり、そ

こからバス道路をてくてく歩きだし、「重篋バス停」を経て 40 分位歩いてようやく「こしき岩バス停」に辿り着いた。

そこから少し登った所に展望台があり、そこで展望を終え、その後神社へ、そこからは長崎市街地とは逆の飯香浦や茂木方面が眼下に展望できた。

帰りも「番所バス停」まで歩いて帰る予定だったそうだが、「こしき岩バス停」を 14 時 19 分発の長崎駅前を通るバスがあったので、そのバスを利用して下り 14 時 50 分ごろ「長崎駅前南口バス停」に着いた。



長崎駅からは 15 時 01 分発快速を利用して家路につく人、15 時 10 分発長与経由を利用する人の二手に別れた。

(佐藤 記・写真も)

1 月 25 日(日)

### 難所ヶ滝～三郡山

(参加者)

川原 大久保 工藤 野中 福岡 山下 白石 田中静 國分 (9名)

(行程)

西諫早駅 6:30-登山口出発 9:05-難所ヶ滝 10:30-稜線 11:00-三郡山頂上 11:55-(昼食)

出発 12:25 (砥石山 A コース) 内ヶ畑コース登山口 14:15-駐車場 14:25 西諫早駅 17:30

(感想)

西諫早駅をマイカー 2 台で出発。そんなに寒く無い。金立で休憩しお茶を飲んでいる時、昔労山で知り会った 3 人と 10 数年ぶりの再会。お互いに年を取ったねと顔を見合わせる、昔を思い出して懐かしかった。

筑紫野 IC で國分さんと待ち合わせ昭和の森まで先導してもらい迷うことなく駐車場に到着。

ストレッチ体操をして出発。天気は晴れ。心も晴ればれ。

しかしこの頃暖かい日が続くので滝が凍っているか心配になる。林道が終わり山道に入る。沢を渡ると大きな岩が転がる登山道で、見上げると延々続く自然林で雰囲気が良い。沢沿いを更に進むと難所ヶ滝の分岐で左に行く。大きな看板があり、滝が凍った時の写真が載っていた。足元が濡れていて滑りやすいので用心しながら進む。氷の妖精舞い降り地、難所ヶ滝に着く。凍っている事を期待をしていましたが残念ながら岩肌が見えるだけでした。



ここから分岐に戻らず滝の下を通過して左側に行く。急傾斜になり谷に落ちないように慎重に登る。

尾根を登りきると宝満山と三郡山を結ぶ縦走路（九州自然歩道）でした。緩やかなアップダウンが続き少しくらい場所もありましたが、気持ちの良い稜線歩きを楽しむ事が出来ました。途中で頭巾山(山城跡)に立ち寄る。だらだらした坂道を登りきると舗装道路と物々しいレーダー基地が聳え立っていてがっくりする。基地の裏が頂上で、ここで昼食をとるが風が強くて寒い、熱いスープが美味しかった。



帰りは砥石山方面へ進む、稜線は少し登り下りもありましたが、道幅も広く、落ち葉のジュウタンで歩きやすく気持ち良かったです、普通は、つき谷コースを下るのですが車道歩きが長いので止めて、國分さんの案内で砥石山方向 A コースを下る、初めてのコース



で長く感じたが、石ころも無く落ち葉の道で足も疲れなくて楽しく歩けました。内ヶ畑コース登山口に 14:15 分着、駐車場まで 5 分で着きました。

今回、凍った滝を見ることが出来ませんでした。今日も楽しい一日を過ごせました。尚 野中さん白石さんには車の提供と長時間の運転お疲れさまでした。ありがとうございました。  
(福岡 記)



2月8日(日)

### 三俣山 1747.7m (九重連山)

(参加者) 間ノ瀬、野中、中須賀、田中(静)、高森、林(和)、白石、福岡、山下(ち)、大久保、田村、吉川 (12名)

(行程) 西諫早駅 6:30—諫早 IC—金立—九重 IC 8:45—長者原 9:40 (トイレ休憩・マイクロバスチェーン装着) —大曲 10:00—出発—すがもり小屋 11:30—強風により下山—大曲 12:45—長者原 13:20 (バスの中で昼食) —やまなみ温泉館牧場の湯—九重 IC—諫早 17:30

(感想)

今回の山行は、冬山の厳しさを改めて思い知らされました。日頃あまり雪に縁がない生活をしているので理解が足りなかったと思います。

参加者 12 人で出発。 高速道を降り、走って行くうちに路肩にはかなりの残雪がある。そう言えば数日前のニュースで大分は降雪で道も不通と云ってたなあ と 納得した。 今回のバスはスタッドレスタイヤ&タイヤチェーン装着とバッチリで 安心でした。

登山開始地 大曲は雪々々・・・10:05 早速 アイゼンを付け出発。

進んで行くほどに積雪が凄い。 先に登った人の足跡と岩石に付いてる目印を見ながら進んだ。風が結構強くしっかり踏みしめていないと体が振られてしまうほどだった。

11:30 すがもり越に到着した。先着の人から頂上付近は視界は 10mもないと聞き、残念だけど今回は 下山する事に決まった。



少し立っているだけでも体温が奪われて行く気がした。下山を始めたけど まあ 石つぶてのような雪が顔にあたり目を開けていられないくらい痛くみんな立ち止まるほどだった。下に行くにつれて風も止み大曲に着いた時はあの天候が信じられないくらい穏やかでした。三俣山を仰ぎ見ると 何と青空が見え すっきりとその全容を見せてくれました。

あ～あ もう少し早く天気が回復していたらと 思いました。登山の後の楽しみはいつも立ち寄る温泉ですが今回ほどお湯の温かさがしみじみと身にしみた事はありませんでした。とにかく同じ九州とは思えない風景に 冬山山行の厳しさを改めて痛感し装備の大切さを思い知らされました。反省する事ばかりでした。今回の経験をふまえて今一度 挑戦したいものです。L、SL、会計の方々 お世話になりました。悪条件の中 本当にお疲れ様でした。

(高森 記)

おれんじニュース 300号を記念してクイズにこたえていただきましょう。  
 正解者にはプレゼントがあります。ただし、抽選で5名様までです。  
 回答はメールにても受け付けます。3月20日まで締めきります。

**問題 1** 雪という字は漢字で雨冠にヨという字を書きますがこの「ヨ」という文字はどんな意味があるのでしょうか？

- ①羽毛                                  ②ほうき                                  ③山

**問題 2** 気象庁が定める春はいつからでしょう？

- ①春一番が吹いてから                  ②3月1日から                          ③春分の日から

**問題 3** 冬によく発達する高気圧は？

- ①太平洋高気圧                          ②シベリア高気圧                      ③オホーツク高気圧

**問題 4** 2月9日は「風の日」です。さて、最大瞬間風速の歴代1位を観測した場所は  
 何処でしょう？

- ①宮古島                                  ②室戸岬                                  ③富士山

**問題 5** 2月10日は「布団の日」です。快眠出来る布団の中の温度は何度でしょう？

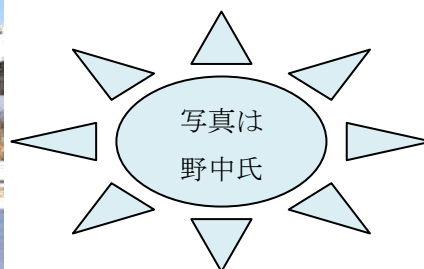
- ①23℃                                      ②28℃                                      ③33℃

**問題 6** つららを北国では独特な呼び方をします。それは何と言うのでしょうか？

- ①たるひ                                      ②あめんぼう                              ③あいしくる

**問題 7** 郵便などの挨拶の文で、立春の前は「寒中見舞い」ですが、立春以降は何と  
 言うでしょう？

- ①寒後    ②残寒    ③余寒



まずはストレッチ  
しますよ～！

2月8日九重三侯の雪中行軍模様

すがもりごやも、  
冷蔵庫の中みたい



1月21日 松本城と水に遊ぶ白鳥 撮影間ノ瀬氏下も同じ



2月1日 雲仙霧氷沢はご覧の様な霧氷ざんまい



<b>おれんじニュース 300</b>	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡 正 廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 福岡正廣、鎗水律夫、中野美津子、山口いつ子、 山下文代、林和子、兵庫芳隆(事務局長)
発行年月日	2015.2.25
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com/">http://orangehikingclub.com/</a>

予想した通りではありませんが、やはりかなりの雪景色や霧氷が多い今月のニュースになりました。それでも、例年より暖かい日の山行もありました。水仙の花が今まで見に行った中で一番きれいでした。冬の松本城の写真も素敵ですね。ガラケイで撮ったとは思えません。今後も宜しくお願いします。(山下ちず子)